

氏名	菊本東陽	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	神経系理学療法学				
学位	学士(保健衛生学)				
学歴	1991年北海道大学医療技術短期大学部理学療法学科、2000年大学評価・学位授与機構				
経歴	2009年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本理学療法士協会、埼玉県理学療法士協会、日本神経理学療法学会、日本リハビリテーション連携科学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	理学療法に関するガイドラインupdate 2 理学療法に関するガイドラインupdate 神経系疾患	単著	なし	理学療法ジャーナル;53 (4);P391-399	菊本東陽	2019.4
2	埼玉県の通所介護における個別機能訓練加算(II)の算定状況と課題 個別機能訓練指導員の保有資格による影響	共著	あり	リハビリテーション連携科学;20(2);P167-173	常盤文枝、臼倉京子、張平平、金さやか、菊本東陽	2019.12
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	歩行適応現象の評価指標の検討	共同		第28回埼玉県理学療法学会、さいたま市	○菊本東陽、星文彦	2020.1
2	歩行中方向転換動作の反応遅延と認知-運動機能の関連性について	共同		第20回日本早期認知症学術大会、岐阜市	○星文彦、中村高仁、菊本東陽、大沼亮、丹波匡太郎	2019.10
3	住民が自主的に運営する骨粗鬆症と転倒の予防教室の長期的効果	共同		第37回日本骨代謝学会学術大会、神戸市	○藤縄理、菊本東陽、須永康代、村田健児、善生まり子、内山真理、萱場一則、廣瀬圭子、荒木智子、遠藤直人	2019.10
4	骨粗鬆症と転倒の予防教室の骨密度と体力に及ぼす長期的効果	共同		第37回日本骨代謝学会学術大会、神戸市	○藤縄理、菊本東陽、須永康代、村田健児、善生まり子、内山真理、萱場一則、廣瀬圭子、荒木智子、遠藤直人	2019.10
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			通所介護における生活行為の改善を視点としたマネジメントモデルの開発	研究分担者	2018.4~2020.3
2	埼玉県立大学奨励研究(S)			高齢者の身体活動量・身体機能を高める介入法の開発	研究分担者	2019.4-2021.3
3						

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	理学療法学概論		8	1年生を対象に、理学療法のプロセス、理学療法士の業務、生涯学習等について講義した。
2	理学療法評価学	○	15	2年生を対象に、理学療法評価の概論、各論についてスライドを用いて講義した。
3	理学療法評価学(新カリ)	○	14	1年生を対象に、実技も取り入れながら重要な理学療法評価項目について講義した。
4	神経障害理学療法学		10	2年生を対象に、脳卒中理学療法に関する、評価および急性期の実技指導を行った。
5	神経障害理学療法実践チュートリアル		14	3年生を対象に、パーキンソン病の理学療法に関するチュートリアルを行った。
6	神経疾患理学療法効果検証学	○	15	4年生を対象に、中枢神経疾患に対する科学的根拠に基づく理学療法の実践に関する情報収集法について講義ト演習を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床推論演習		8	4年生を対象に、中枢神経疾患領域に対する理学療法の実践を想定した指導を行った。
2				
3				
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	理学療法評価学実習		23	形態測定、関節可動域測定、筋力検査、反射検査について、実践を意識した実技指導を行った。
2	神経診断学実習	○	45	2年生を対象に、事前学習指導および発表会時のアドバイスをを行った。
3	神経障害理学療法学実習	○	30	脳卒中患者に対する、評価および急性期の実技指導を行った。
4	IPW実習	○	45	科目責任者として、IPW実習の運営と学生担当、地域担当を担った。
5	理学療法セミナー(OSCE1)		2	3年生を対象とした、実技試験の評価を担当した。
6	理学療法セミナー(OSCE1)	○	15	4年生を対象に、実技指導と実技試験の運営に携わった。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2018.4~2019.12	主指導	1名 副指導 名
2			主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 名
3			主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	認定必須研修会	日本理学療法士会	脊髄小脳変性症への理学療法	2019.5
2	SCD友の会医療後援会	全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会	実践リハビリテーション	2019.5
3	臨床実習指導者講習会	埼玉県立大学	糖尿病に対する運動療法	2019.9
4	第38回県民福祉講座	埼玉県障害難病団体協議会	「実践・リハビリ」症状別によるリハビリのヒント	2019.9
5		彩の国いきがい大学伊奈学園	骨粗鬆症の予防	2019.11
6		彩の国いきがい大学春日部・入間・川越学園	骨粗鬆症の予防	2020.1

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	越谷市介護認定審査会	委員	2019.4～2021.3	
2	全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会	医療顧問	2010.4～	
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員、就職対策部会員		2018.4～2020.3
2	学科等における委員会等	学生支援		2018.4～2020.3□
3	学長指定プロジェクトへの関与	プロジェクトB		2017.4～
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				